

## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年5月7日

上場会社名 東京鐵鋼株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5445 URL http://www.tokyotekko.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 每文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 柴田 隆夫 (TEL) 03(5276)9701  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月3日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	58,984	△8.5	5,483	854.8	6,043	85.1	3,993	27.0
2019年3月期	64,443	20.1	574	—	3,265	—	3,143	—

(注) 包括利益 2020年3月期 3,928百万円(36.4%) 2019年3月期 2,878百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	428.18	—	9.7	10.4	9.3
2019年3月期	337.59	—	8.3	5.7	0.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 604百万円 2019年3月期 2,687百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	57,495	43,101	74.9	4,614.94
2019年3月期	58,455	39,361	67.2	4,214.05

(参考) 自己資本 2020年3月期 43,040百万円 2019年3月期 39,304百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	7,665	△2,729	△3,889	7,951
2019年3月期	661	△2,148	5	6,906

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	186	5.9	0.5
2020年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00	559	14.0	1.4
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

## 3. 2021年3月期第1四半期の連結業績予想(2020年4月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	11,000	△28.7	1,000	9.6	1,000	△4.6	700	△5.8	75.05

2021年3月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を現時点で合理的に算定することが困難なため、開示しておりません。合理的な予想が可能となった時点で業績予想を速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	9,365,305株	2019年3月期	9,365,305株
② 期末自己株式数	2020年3月期	38,873株	2019年3月期	38,211株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	9,326,812株	2019年3月期	9,311,540株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	55,531	△10.1	4,765	—	4,758	581.2	3,264	242.6
2019年3月期	61,760	21.1	△420	—	698	—	952	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	349.81		—					
2019年3月期	102.27		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	50,726	37,171	37,171	34,150	73.3	3,982.96	3,658.92	
2019年3月期	52,460	34,150	34,150	34,150	65.1	3,658.92	3,658.92	

(参考) 自己資本 2020年3月期 37,171百万円 2019年3月期 34,150百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料p.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、国内での消費増税、また年度末の世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、足元の景気は急速に落込み、先行きについても非常に厳しい状況となっております。

当社の属する電炉小棒業界におきましては、主原料の鉄スクラップ価格が上半期から引き続き弱含みで推移するなど、採算面での改善が見られる一方、人手不足による建設工事の後倒しや東京オリンピック関連工事の終息など需要は弱含みで推移しており厳しい経営環境が続きました。

このような中で、当社は主力製品であるネジ節棒鋼のネジテツコン、並びにその関連商品の拡販に注力するとともに、原材料コストに見合った適正な製品価格の確保、並びにコストダウンに取り組んでまいりました。

当連結会計年度における連結売上高は、出荷数量の減少により、589億8千4百万円と前年同期比54億5千9百万円(8.5%)の減収となりました。

利益につきましては、製品価格と鉄スクラップ価格の値差が改善したことにより、営業利益は前年同期比49億9百万円(854.8%)増益の54億8千3百万円となりました。経常利益は前年同期比27億7千8百万円(85.1%)増益の60億4千3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前年同期比8億5千万円(27.0%)増益の39億9千3百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (イ) 資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億5千9百万円減少し、574億9千5百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品が減少したことによるものです。

#### (ロ) 負債

負債の合計は、前連結会計年度末に比べ47億円減少し、143億9千3百万円となりました。これは主に短期借入金が減少したことによるものです。

#### (ハ) 純資産

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ37億4千万円増加し、431億1百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は前期末比7.6ポイント上昇して74.9%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億4千5百万円増加し、79億5千1百万円となりました。

#### (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益と減価償却費を主たる収入として、仕入債務の減少に伴う支出などを差し引きして、76億6千5百万円の収入となりました。

#### (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、27億2千9百万円の支出となりました。

#### (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額と長期借入金の返済による支出などにより、38億8千9百万円の支出となりました。

#### (4) 今後の見通し

次期のわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの蔓延に伴う影響により海外及び国内の経済活動の停滞が想定され、厳しい状況が続くと見込まれます。

電炉小棒業界におきましては、東京オリンピック関連の建設需要が終息したことやウイルス感染対策による建設工事の中断により需要の低迷が予想されます。

当社としましてはこのような環境に対して、省力化工法などの提案営業を強化し、ネジテツコン並びに関連商品などの高付加価値製品の拡販につなげるとともに、適正な製品価格の確保、一層のコストダウンに取り組んでまいります。

2021年3月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を現時点で合理的に算定することが困難なため、開示しておりません。合理的な予想が可能となった時点で業績予想を速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえて、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,033	7,961
受取手形及び売掛金	6,081	6,600
商品及び製品	7,584	6,710
原材料及び貯蔵品	2,726	1,823
その他	350	232
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	23,776	23,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,919	17,810
減価償却累計額	△12,744	△13,004
建物及び構築物（純額）	5,175	4,806
機械装置及び運搬具	48,839	49,473
減価償却累計額	△38,698	△39,758
機械装置及び運搬具（純額）	10,141	9,715
土地	10,494	10,433
リース資産	679	630
減価償却累計額	△338	△386
リース資産（純額）	340	243
建設仮勘定	305	483
その他	3,730	3,768
減価償却累計額	△3,018	△3,106
その他（純額）	712	661
有形固定資産合計	27,169	26,343
無形固定資産	92	83
投資その他の資産		
投資有価証券	5,352	6,126
退職給付に係る資産	154	164
繰延税金資産	1,553	1,154
その他	380	315
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,417	7,737
固定資産合計	34,678	34,165
資産合計	58,455	57,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,496	4,238
電子記録債務	586	326
営業外電子記録債務	35	26
短期借入金	3,000	-
1年内償還予定の社債	120	80
1年内返済予定の長期借入金	881	803
リース債務	102	126
未払法人税等	235	837
賞与引当金	375	783
役員賞与引当金	-	40
その他	2,443	2,855
流動負債合計	14,276	10,117
固定負債		
社債	80	-
長期借入金	1,975	1,567
リース債務	283	180
金利スワップ	6	3
再評価に係る繰延税金負債	516	516
退職給付に係る負債	1,525	1,576
資産除去債務	72	73
その他	357	357
固定負債合計	4,817	4,275
負債合計	19,093	14,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,839	5,839
資本剰余金	1,851	1,851
利益剰余金	29,957	33,764
自己株式	△81	△82
株主資本合計	37,567	41,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	600	530
繰延ヘッジ損益	△4	△2
土地再評価差額金	1,180	1,180
為替換算調整勘定	12	9
退職給付に係る調整累計額	△51	△50
その他の包括利益累計額合計	1,737	1,667
非支配株主持分	56	60
純資産合計	39,361	43,101
負債純資産合計	58,455	57,495

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	64,443	58,984
売上原価	56,490	46,098
売上総利益	7,952	12,885
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,397	2,927
給料	1,094	1,096
退職給付費用	114	146
賞与引当金繰入額	128	263
役員賞与引当金繰入額	-	40
減価償却費	62	66
賃借料	391	408
業務委託費	303	320
研究開発費	404	438
その他	1,480	1,693
販売費及び一般管理費合計	7,378	7,402
営業利益	574	5,483
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	53	78
設備賃貸料	24	21
仕入割引	99	65
受取保険金	21	30
持分法による投資利益	2,687	604
雑収入	89	63
営業外収益合計	2,976	864
営業外費用		
支払利息	64	57
売上割引	215	191
支払手数料	1	42
為替差損	-	5
その他	4	7
営業外費用合計	285	303
経常利益	3,265	6,043

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	0
環境対策引当金戻入額	205	-
投資有価証券売却益	150	-
特別利益合計	357	0
特別損失		
固定資産除却損	113	106
減損損失	1	298
投資有価証券評価損	17	240
経営統合関連費用	91	-
災害による損失	-	70
特別損失合計	224	715
税金等調整前当期純利益	3,398	5,328
法人税、住民税及び事業税	397	908
法人税等調整額	△145	421
法人税等合計	251	1,330
当期純利益	3,147	3,997
非支配株主に帰属する当期純利益	3	4
親会社株主に帰属する当期純利益	3,143	3,993

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,147	3,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	△55
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△5	△2
退職給付に係る調整額	4	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△17
その他の包括利益合計	△268	△69
包括利益	2,878	3,928
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,875	3,923
非支配株主に係る包括利益	3	4

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,839	1,851	27,000	△128	34,563
当期変動額					
剰余金の配当			△186		△186
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,143		3,143
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分				57	57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				△9	△9
当期変動額合計	-	-	2,956	46	3,003
当期末残高	5,839	1,851	29,957	△81	37,567

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	864	△3	1,180	18	△53	2,005	52	36,622
当期変動額								
剰余金の配当								△186
親会社株主に帰属する 当期純利益								3,143
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△263	△0	-	△5	1	△268	3	△274
当期変動額合計	△263	△0	-	△5	1	△268	3	2,739
当期末残高	600	△4	1,180	12	△51	1,737	56	39,361

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,839	1,851	29,957	△81	37,567
当期変動額					
剰余金の配当			△186		△186
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,993		3,993
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	3,806	△0	3,805
当期末残高	5,839	1,851	33,764	△82	41,373

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	600	△4	1,180	12	△51	1,737	56	39,361
当期変動額								
剰余金の配当								△186
親会社株主に帰属する 当期純利益								3,993
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△70	1	-	△2	1	△69	4	△65
当期変動額合計	△70	1	-	△2	1	△69	4	3,740
当期末残高	530	△2	1,180	9	△50	1,667	60	43,101

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,398	5,328
減価償却費	2,292	2,290
減損損失	1	298
無形固定資産償却費	33	33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	17	407
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	40
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△320	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27	44
受取利息及び受取配当金	△54	△78
支払利息	64	57
持分法による投資損益(△は益)	△2,687	△604
投資有価証券売却損益(△は益)	△150	-
投資有価証券評価損益(△は益)	17	240
有形固定資産除却損	113	106
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△0
売上債権の増減額(△は増加)	166	△519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,117	1,776
仕入債務の増減額(△は減少)	199	△2,518
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△1
未払消費税等の増減額(△は減少)	66	814
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23	5
その他の流動負債の増減額(△は減少)	88	73
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△18	-
その他	△20	△27
小計	1,086	7,766
利息及び配当金の受取額	54	78
利息の支払額	△65	△56
法人税等の支払額	△464	△261
法人税等の還付額	66	171
その他の支出	△36	△63
その他の収入	21	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	661	7,665

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,642	△2,342
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△29	△15
投資有価証券の取得による支出	△802	△509
投資有価証券の売却による収入	360	-
定期預金の預入による支出	△127	△20
定期預金の払戻による収入	127	137
その他	△38	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,148	△2,729
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000	△3,000
長期借入れによる収入	-	400
長期借入金の返済による支出	△623	△886
社債の償還による支出	△120	△120
リース債務の返済による支出	△107	△92
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	57	-
配当金の支払額	△188	△187
その他	△12	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	5	△3,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,485	1,045
現金及び現金同等物の期首残高	8,391	6,906
現金及び現金同等物の期末残高	6,906	7,951

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている構成単位から、当社グループが主な事業内容としている棒鋼の製造・販売を中心とする「鉄鋼事業」に係るものを集約したものです。

「鉄鋼事業」では、棒鋼及び棒鋼加工品の製造・販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	鉄鋼事業				
売上高					
外部顧客への売上高	64,080	363	64,443	—	64,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	139	4,377	4,517	△4,517	—
計	64,219	4,740	68,960	△4,517	64,443
セグメント利益	105	432	538	36	574
セグメント資産	56,909	1,944	58,853	△398	58,455
その他の項目					
減価償却費	2,275	51	2,326	—	2,326
持分法適用会社への投資額	3,514	—	3,514	—	3,514
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,655	52	1,708	△0	1,707

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、設備等のメンテナンス事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額36百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

(2)セグメント資産の調整額△398百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものです。

(3)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	鉄鋼事業				
売上高					
外部顧客への売上高	58,566	417	58,984	—	58,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	3,722	3,808	△3,808	—
計	58,652	4,139	62,792	△3,808	58,984
セグメント利益	5,253	181	5,434	49	5,483
セグメント資産	55,747	2,165	57,912	△417	57,495
その他の項目					
減価償却費	2,273	51	2,324	—	2,324
減損損失	298	—	298	—	298
持分法適用会社への投資額	4,101	—	4,101	—	4,101
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,717	168	1,886	△0	1,886

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、設備等のメンテナンス事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額49百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

(2)セグメント資産の調整額△417百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものです。

(3)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,214.05円	4,614.94円
1株当たり当期純利益	337.59円	428.18円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,143	3,993
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,143	3,993
普通株式の期中平均株式数(株)	9,311,540	9,326,812

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	39,361	43,101
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	56	60
(うち非支配株主持分(百万円))	(56)	(60)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	39,304	43,040
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	9,327,094	9,326,432

- 4 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。  
1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度16,354株であります。